令和7年度教員活動状況評価結果について

令和8年10月23日

○本学教員活動状況評価に関する規程　及び　同実施細則に基づき、教員活動状況評価を実施しました。
当該評価の集計結果は、以下のとおりです。

◇評価結果

【総合評価】

	全学	
S	17	(9.4%)
A	43	(23.9%)
B	116	(64.4%)
C	3	(1.7%)
D	1	(0.6%)
計	180	

【領域評価】

＜教育＞

	全学	
A	55	(31.4%)
B	115	(65.7%)
C	5	(2.9%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	175	

＜社会活動＞

	全学	
A	51	(29.5%)
B	105	(60.7%)
C	15	(8.7%)
D	2	(1.2%)
評価対象外		
計	173	

＜センター等業務（コーディネート）＞

	全学	
A	3	(100.0%)
B	0	(0.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	3	

＜センター等業務（調査研究・研究開発等）＞

	全学	
A	2	(40.0%)
B	3	(60.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	5	

＜研究＞

	全学	
A	48	(27.6%)
B	93	(53.4%)
C	23	(13.2%)
D	10	(5.7%)
評価対象外		
計	174	

＜管理・運営＞

	全学	
A	46	(28.4%)
B	112	(69.1%)
C	4	(2.5%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	162	

＜センター等業務（学生指導・学生支援等）＞

	全学	
A	4	(50.0%)
B	4	(50.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	8	

＜センター等業務（企画立案・管理運営等）＞

	全学	
A	8	(50.0%)
B	7	(43.8%)
C	1	(6.3%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	16	

（単位：人）

※端数処理の都合上、各評価の割合の合計が100%にならない場合がある。

（評語等の説明）
S：活動状況が極めて良好である
A：活動状況が大変良好である
B：活動状況が良好である
C：活動状況がやや不十分である
D：活動状況が不十分である
※領域評価において採用期間や教育免除等の特段の理由がある場合、「評価対象外」としている。

◇評価対象者
専任の教授、准教授、講師、助教
※学部長・学環長を含む。
※採用から3年未満の教員について、配置が学部の場合は学部長、全学センター（学環を含む）の場合は学長が指名する者が学長の了承を得て、本評価の対象者から除くことができる。ただし、年俸制給与規程の適用を受け在職期間が1年以上の教員については、対象とする。

◇評価項目
教育、研究、社会活動、管理・運営の各領域
※ただし、教員の職務内容の特殊性を鑑み、全学センターの教員及び学部の一部の教員に限り、以下の領域に全て又は一部を差替えることができる。（細則第5条第1項）
センター等業務（コーディネート）、センター等業務（学生指導・学生支援等）、
センター等業務（調査研究・研究開発等）、センター等業務（企画立案・管理運営等）

◇対象期間
教育、社会活動及び管理・運営領域・・・過去3年
研究領域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・過去5年
各センター等業務・・・・・・・・・・・・・・・・・過去3年